

資料編

- 人口・世帯
- 産業の状況
- 財政の状況
- 町民意識アンケート調査分析
- 後期基本計画策定体制
- 那須町振興計画策定懇談会
- 那須町企画審議会
- 後期基本計画策定経過



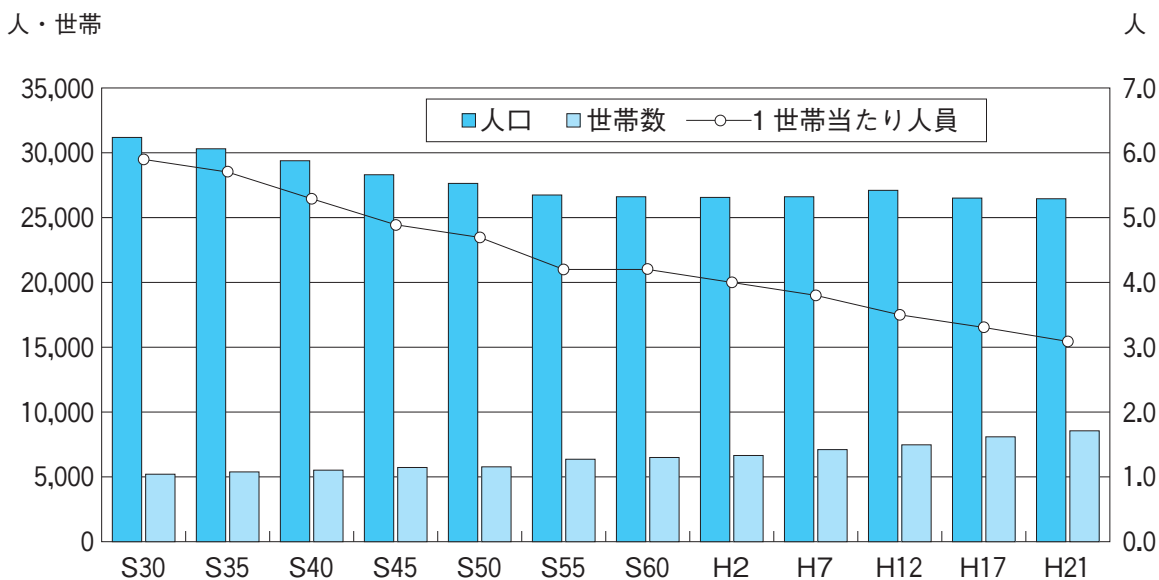
人口・世帯

(1) 人口・世帯

本町の平成21年10月1日現在の人口は26,548人で、その推移を昭和29年の合併以降、昭和30年からみると平成2年まで減少を続け3万人台から2.6万人台まで落ち込みましたが、近年はほぼ横ばいとなっています。

世帯数についてみると、平成21年は8,526世帯、世帯当たり人員数は3.1人/世帯で、世帯あたり人員の減少、世帯数の増加傾向がみられます。

■人口・世帯・世帯当たり人員数の推移



(単位:人・世帯)

	S35	S30	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H21
人口	31,034	30,359	29,345	28,121	27,699	26,824	26,789	26,670	26,748	27,027	26,693	26,548
世帯数	5,231	5,350	5,530	5,723	5,883	6,363	6,431	6,688	7,050	7,669	8,016	8,526
1世帯当たり人員	5.9	5.7	5.3	4.9	4.7	4.2	4.2	4.0	3.8	3.5	3.3	3.1

(資料:国勢調査(平成21年は毎月人口調査))

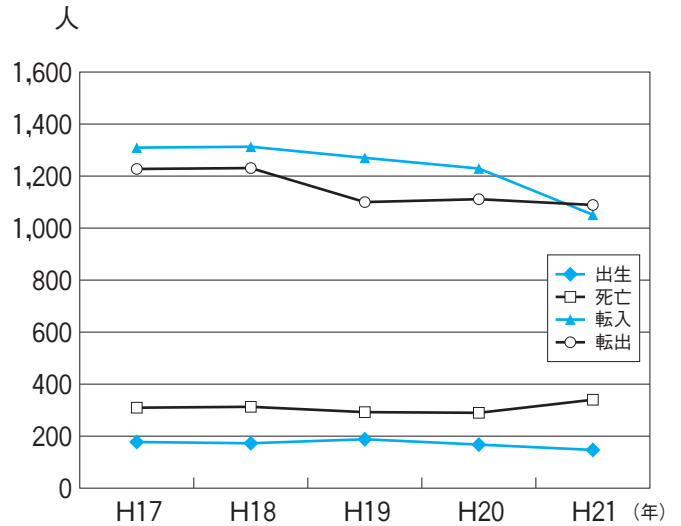
(2) 人口動態

本町の平成21年現在の自然増減、社会増減数の状況を見ると、自然増減では死亡が出生を上まわっており、社会増減においては、転出が上まわっています。

(単位：人)

	H17	H18	H19	H20	H21
出生	179	175	181	173	141
死亡	317	319	298	282	338
転入	1,310	1,339	1,270	1,232	1,054
転出	1,221	1,251	1,101	1,115	1,090

■人口動態の推移

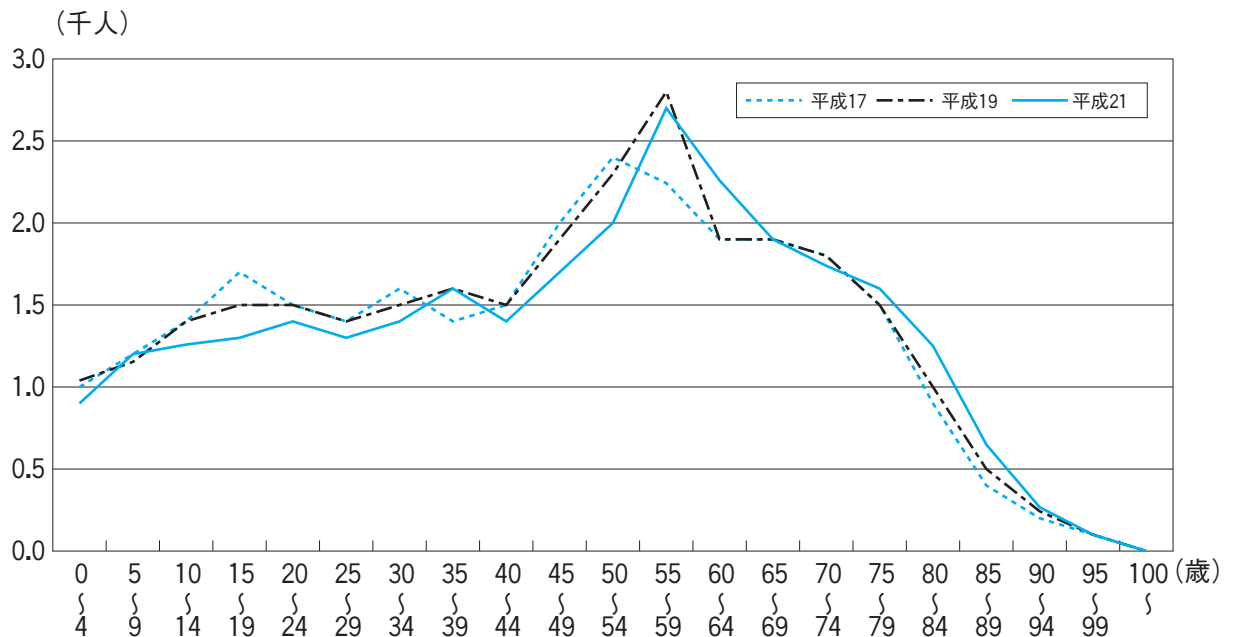


(3) 年齢別人口

本町の5歳別年齢別人口数の推移を見ると、年少人口（0～14歳）の減少、高齢者人口（65歳以上）の増加、いわゆる少子高齢化の進行がみられます。また55～59歳台の増加に特徴がみられます。

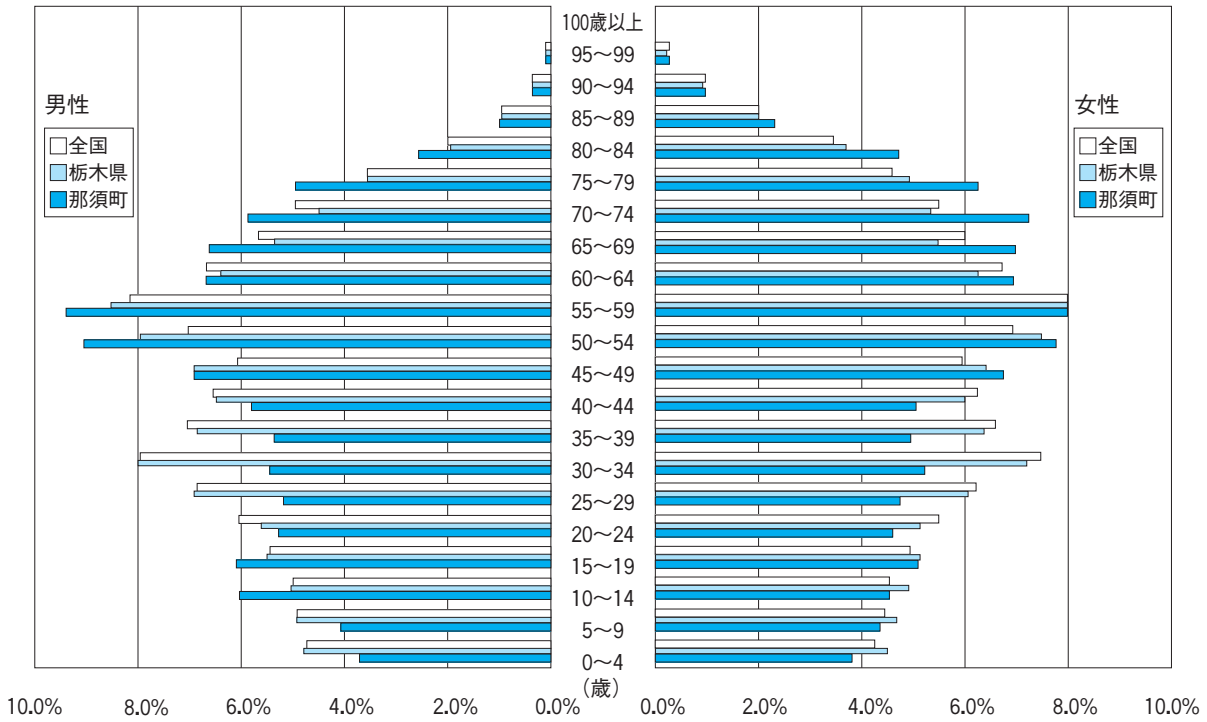
平成17年における5歳別人口比を全国、栃木県と比較すると、人口ピラミッドの形態は釣鐘型で、全国、栃木県と概ね同様の傾向ですが、年齢区分ごとにみると、50歳以上人口で全国、栃木県を上回る率となっています。

■5歳別年齢別人口の推移



資料:住民生活課

人口ピラミッドの比較



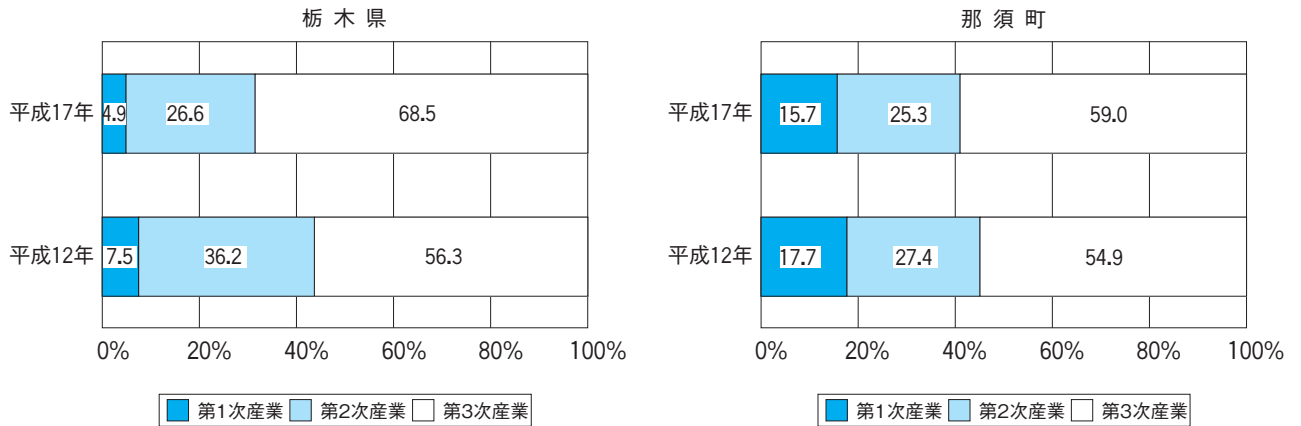
資料:平成17年国勢調査



産業の状況

(1) 産業別人口

本町の（大分類）産業別就業人口割合の推移をみると、平成12年から平成17年にかけて、第1次産業、第2次産業が減少し、第3次産業が増加しています。平成17年における栃木県との比較では、第1次産業就業人口率が大きく上回っています。



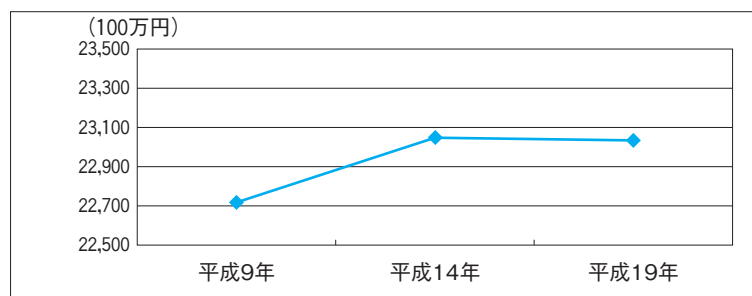
資料:国勢調査

(2) 産業の動向

本町の産業動向のうち、小売販売額、製造品出荷額、観光入込客数の推移を示します。小売販売額については、ほぼ横ばいで推移し、製造品出荷額は減少しています。

観光客入込客数については、年々微増傾向にあります。宿泊者数は減少しています。（農業関係は総合的なデータの発表元がないことから掲載していません。）

① 小売販売額の状況

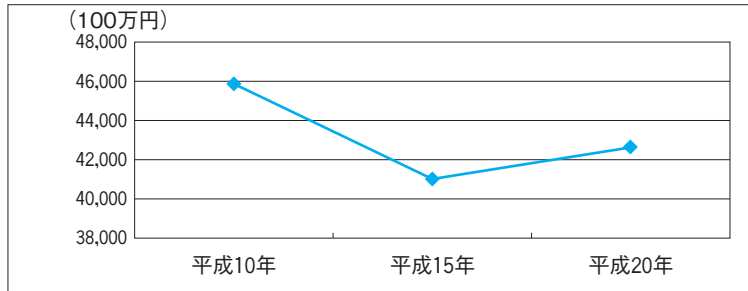


■ 小売販売額 (単位:100万円)

	平成9年	平成14年	平成19年
栃木県	2,363,150	2,084,808	2,136,203
那須町	22,712	23,052	23,043

(資料:商業統計調査)

②製造品出荷額の状況

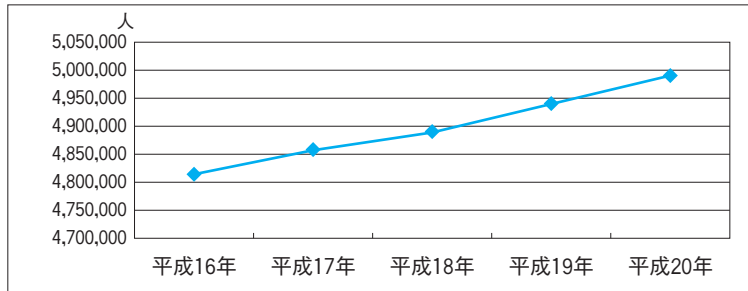


■工業製造品出荷額 (単位:100万円)

	平成10年	平成15年	平成20年
栃木県	7,966,863	7,704,455	9,279,202
那須町	45,992	41,056	42,661

(資料:工業統計調査)

③観光入込客数の状況



■観光入込者数 (単位:人)

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
那須町	4,818,453	4,855,797	4,889,266	4,947,044	4,990,527

(資料:観光商工課)



財政の状況

■主な財政指標の推移

	財政力指数	経常収支比率(%)	実質公債費比率(%)	将来負担比率(%)
平成16年	0.832	89.3	-	-
平成17年	0.840	93.0	9.9	-
平成18年	0.834	93.4	11.2	-
平成19年	0.831	96.7	12.8	111.7
平成20年	0.818	94.0	13.9	97.9
平成21年	0.812	90.8	13.4	87.0

(資料:企画財政課)

(1) 財政力指数

財政の自立度を示す指数であり、近年5年間は概ね0.8程度を維持しています。

(2) 経常収支比率

財政構造の弾力性を示す率であり、80%を超える場合は注意が必要であるとされています。平成17年度で90%を超え、以降横ばい傾向にあります。

(3) 実質公債費比率

(実質公債費比率)

一般会計が負担する公債費（借金返済）が標準財政規模に占める割合を指しており、自治体の実質的な借金返済負担の重さを表す指標です。この指標の早期健全化比率は25%、財政再生比率は35%となっています。本町では年々減少傾向にあります。

(4) 将来負担比率

(将来負担比率)

一般会計等が将来負担すべき債務が標準財政規模の何倍あるかを指標化しています。この比率が高くなると将来的に財政が圧迫される可能性が高くなるとされており、この指標に係る財政健全化比率は350%となっています。本町では年々減少傾向にあります。

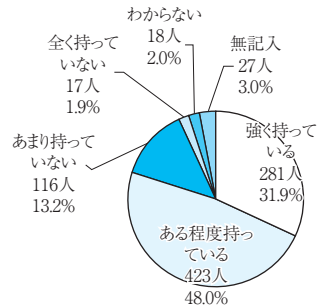


町民意識アンケート調査分析

愛着心

- 愛着心を持っている割合が、40歳代以上の各世代で80%を超えているのに対し、20歳代75%、30歳代70%と低くなっています。

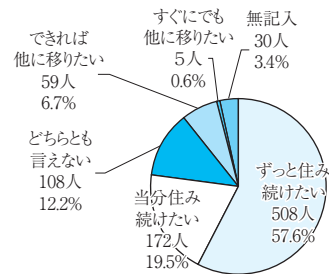
居住地区別では、高原地区が愛着を持っている割合が一番高く、次いで芦野地区、那須地区、伊王野地区の順になっています。



定住志向

- 定住意向の強さは、那須地区、高原地区が80%前後であるのに対し、芦野地区、伊王野地区は70%前後と低くなっています。

居住地区別では、那須地区が定住意向の割合が一番高く、次いで高原地区、芦野地区、伊王野地区の順になっています。

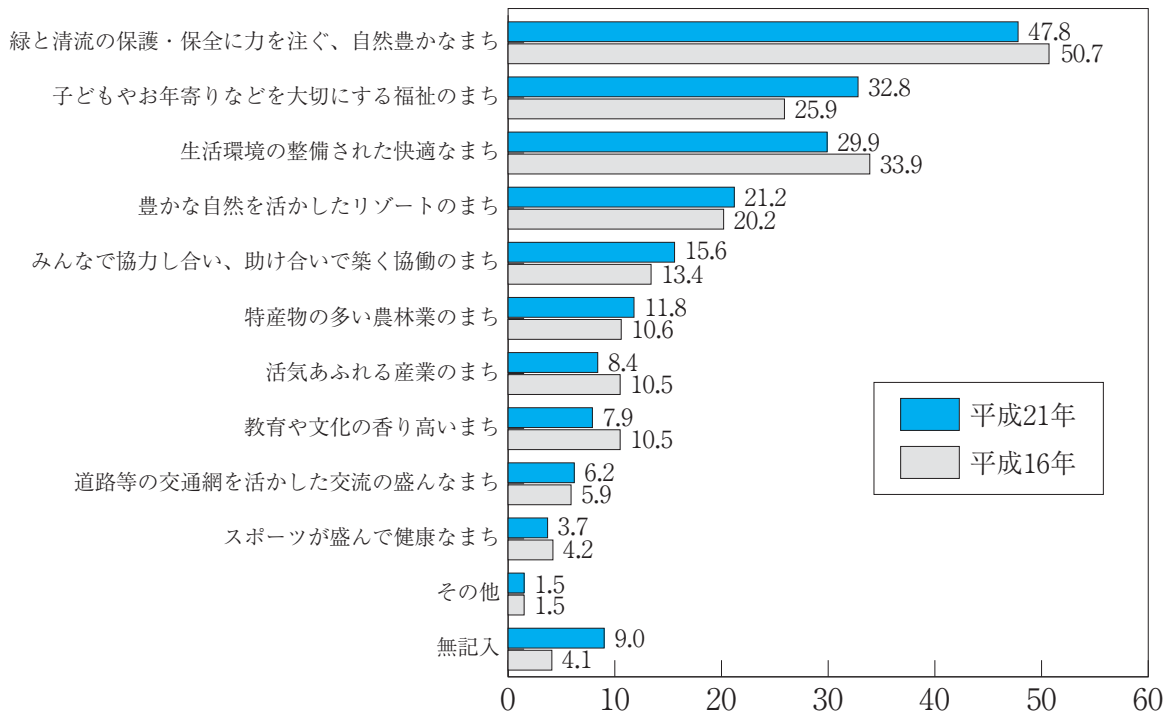


まちの将来像

○「自然豊かなまち」「福祉のまち」「生活環境の整備されたまち」「リゾートのまち」が上位を占めております。

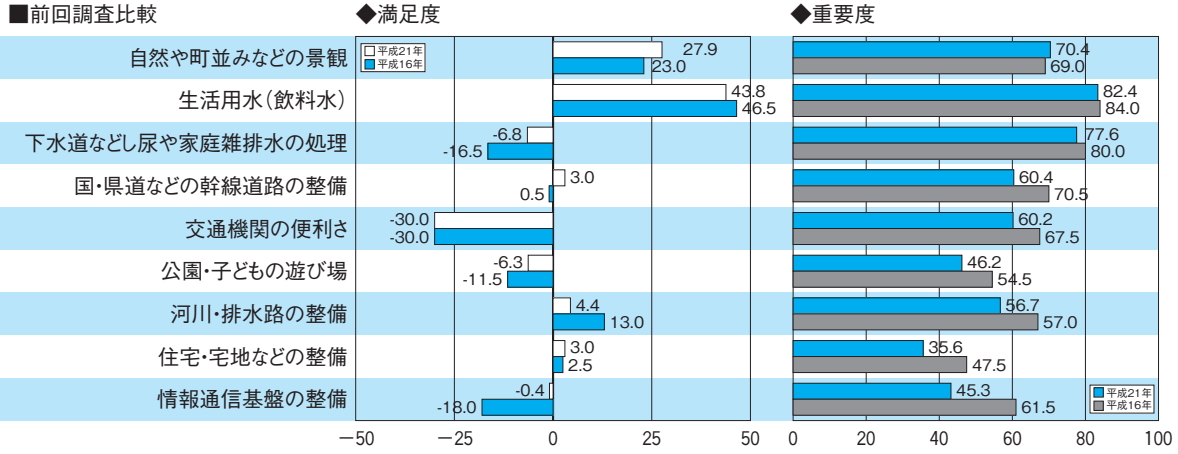
全ての年齢層で「自然豊かなまち」を望む意見が一番多い結果となっています。

年齢別に二番目に多い意見として、70、60、30歳代は「福祉のまち」、40、20歳代は「自然を活かしたリゾートのまち」、50歳代は「生活環境が整備されたまち」となっています。



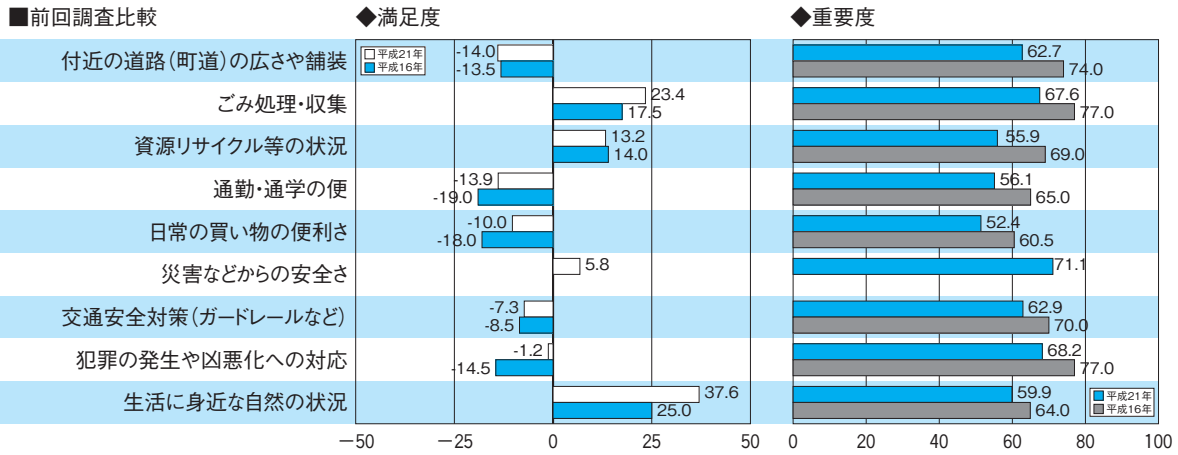
施策分野別満足度・動向・重要度

①都市基盤等の整備について



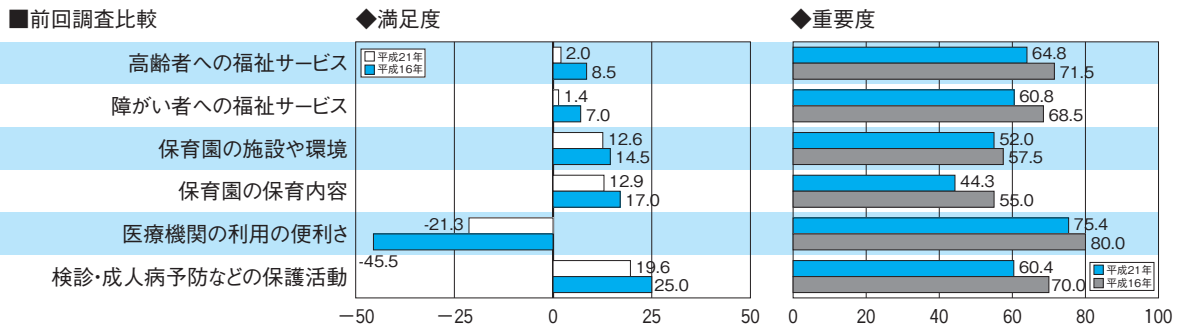
満足度については、「自然や町並みなどの景観」「生活用水(飲料水)」が前回調査と同様に高い満足度となっています。「下水道など尿や家庭雑排水の処理」「公園・子どもの遊び場」などの基盤整備については、マイナス評価となっています。重要度については、「自然や町並みなどの景観」「生活用水(飲料水)」「下水道など尿や家庭雑排水の処理」は7割、「国・県道などの幹線道路の整備」「交通機関の便利さ」「河川・排水路の整備」は5割を超える結果となっています。

②生活環境について

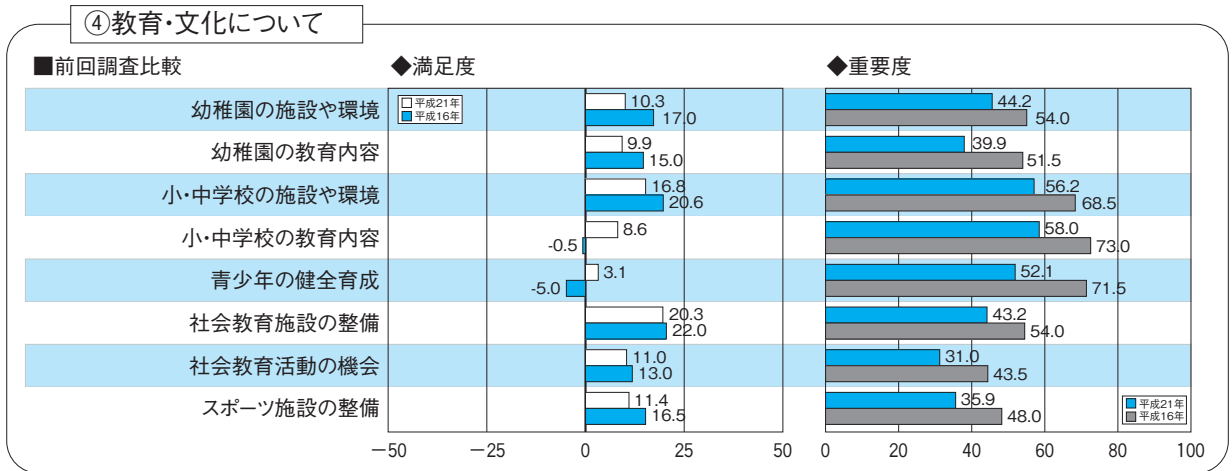


満足度については、「ごみ処理・収集」「資源リサイクル等の状況」「生活に身近な自然の状況」が前回調査と同様にそれ以上に高い満足度となっていますが、「付近の道路(町道)の広さや舗装」「通勤・通学の便」「交通安全対策」については、低い評価となっています。重要度については、全項目で5割を超える結果となっており、生活環境への関心の高さがうかがえます。

③保健福祉について

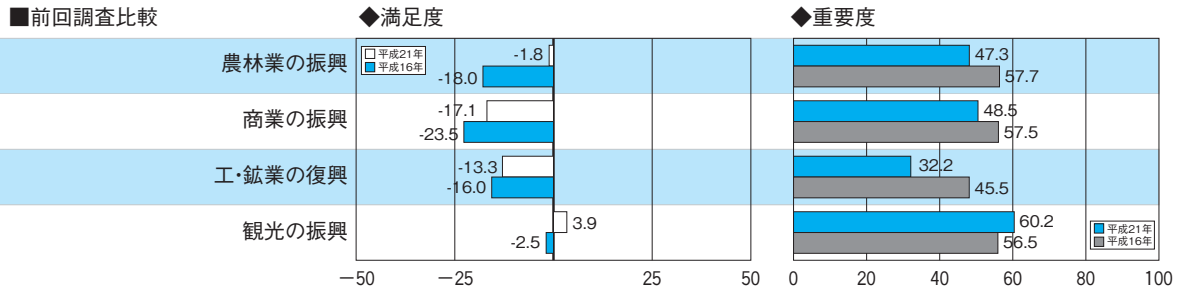


満足度については、「医療機関の便利さ」が改善傾向にはあるものの、前回調査に引き続き低い評価となっています。特に「高齢者への福祉サービス」「障がい者への福祉サービス」は満足度が低い状態となっています。重要度については、全項目で高い結果となっており、保健福祉への関心の高さがうかがえます。特に「医療機関の利用の便利さ」は7割を超えており、前回調査と同様に高い結果となっています。



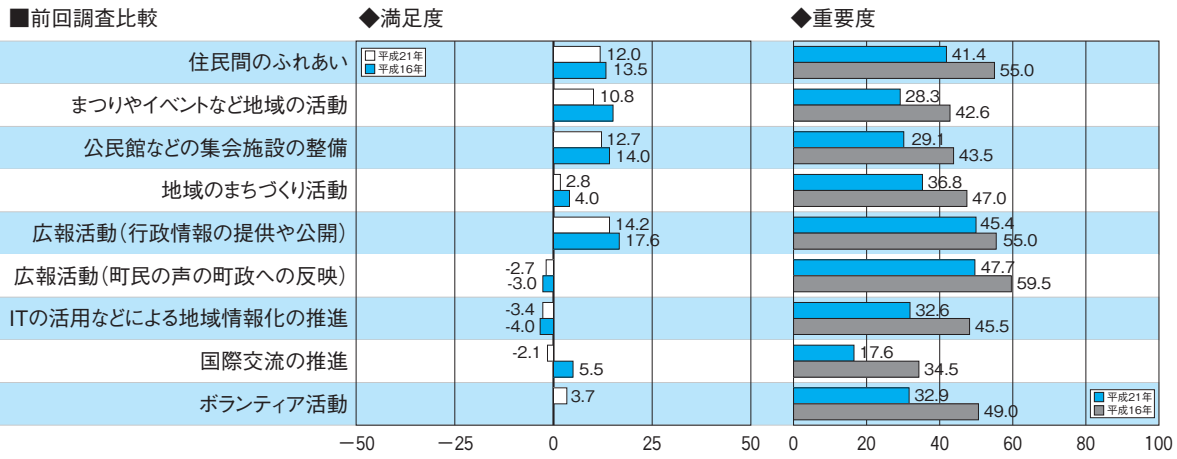
満足度については、全項目プラス評価となっています。「青少年の健全育成」「小・中学校の教育内容」についてはマイナスからプラスに転じています。重要度については、「小・中学校の施設や環境」「小・中学校の教育内容」「青少年の健全育成」は5割を超えているものの、前回調査と比較して全項目ともに減少傾向にあります。

⑤産業について



満足度については、「観光の振興」はマイナスからプラスに転じていますが、その他の項目はマイナス評価です。しかし、前回調査と比較して縮小傾向になっています。重要度については、「観光の振興」は前回調査と比較して増加していますが、その他の項目は減少傾向になっています。

⑥地域・町政について



満足度については、「広報活動(町民の声の町政への反映)」、「ITの活用などによる地域情報化の推進」「国際交流の推進」についてはマイナス評価ですが、前回と比較して縮小傾向にあります。重要度については、全項目とも前回調査と比較して減少傾向となっていますが、「広報活動(行政情報の提供や公開)」「広報活動(町民の声の町政への反映)」「住民間のふれあい」は、4割を超える結果になっています。

※加重平均

この調査では、調査の結果を分かり易く表現するため、満足度のグラフにおいて加重平均による点数化を行っています。

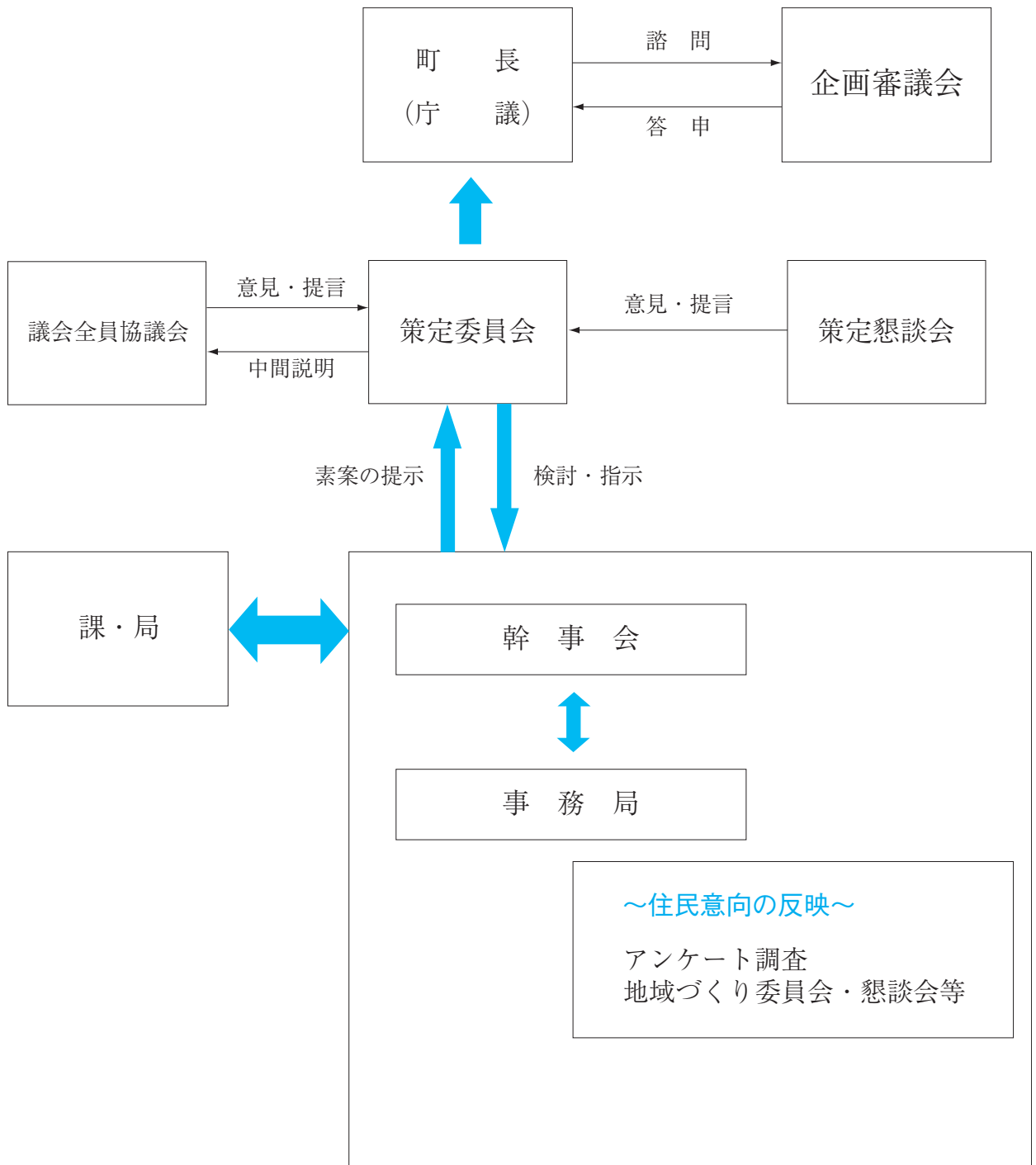
これは、各項目の選択肢のうち、「満足している」に+1点、「まあ満足している」に+0.5点、「やや不満」-0.5点、「不満である」-1点、「どちらともいえない」に0点を便宜的に与え、回答構成から1つの数値を求めるものです。実際の計算方法は、以下の通りです。

A・・・「満足している」の回答者数
 B・・・「まあ満足している」の回答者数
 C・・・「どちらともいえない」の回答者数
 D・・・「やや不満」の回答者数
 E・・・「不満である」の回答者数

$$\text{満足度} = \frac{1 \times A + 0.5 \times B + 0 \times C + (-0.5) \times D + (-1) \times E}{A + B + C + D + E}$$

【後期基本計画策定体制】

ハートフル那須プラン 後期基本計画策定体制



【那須町振興計画策定懇談会】

任期 平成21年9月18日から平成23年3月31日

NO.	所 属	氏 名	摘 要
1	宇都宮共和大学シティライフ学部教授	山 島 哲 夫	会長
2	那須野農業協同組合	井 上 敏 夫	
3	那須観光協会	三 上 公 博	H21
4	那須観光協会	星 史	H22
5	那須町商工会	相 馬 友 勝	
6	那須町森林組合	山 口 一 男	
7	那須町社会福祉協議会	人 見 照 男	
8	那須町ボランティアセンター	山 元 寿美子	
9	那須町ボランティア連絡協議会	高 久 キ サ	
10	那須町まちづくり協議会	相 馬 道 雄	H21
11	那須町まちづくり協議会	秋 元 庄 一	H22
12	黒磯那須青年会議所	星 野 浩 一	
13	那須町教育振興会	内 村 壮 一	H21
14	那須町教育振興会	石 田 弘	H22
15	那須町PTA連絡協議会	阿久津 千 陽	
16	那須町体育協会	井 上 昇	
17	那須町文化協会	伊 藤 忠 雄	
18	那須町女性団体連絡協議会	佐 藤 セツ子	
19	那須町女性団体連絡協議会	池 澤 眞智子	
20	公募委員	白 井 邦 夫	
21	公募委員	増 子 博	

【那須町振興計画策定委員会】

委員長 副町長 委員 教育長・各課長・局長 15名構成
幹事会 14名構成

【那須町企画審議会】

会長 薄井正明

副会長 岡崎良三

任期 平成21年4月1日から平成23年3月31日

	氏名	役職名	備考
1	大平 洵 作	那須町議会議長	
2	広川 辰 也	那須町議会総務常任委員長	
3	鈴木 尚 栽	那須町教育委員	
4	堀内 憲 純	那須町社会福祉協議会副会長	
5	星 不 死 雄	那須町社会福祉協議会副会長	
6	三谷 ト ミ 子	那須町女性団体連絡協議会副会長	
7	渋井 美 智 枝	那須町女性団体連絡協議会 書記	
8	上野 一 夫	那須町農業委員会会長	
9	岡崎 良 三	那須観光協会会長	
10	薄井 正 明	那須町商工会長	
11	井上 敏 夫	那須野農業協同組合理事	
12	田代 正	那須町森林組合代表理事副組合長	
13	瀬尾 清	都市・道路計画に関する学識経験者	
14	川崎 庚 生	那須町まちづくり協議会副会長	
15	大場 征 彦	NPO・ガラス工芸家	

【後期基本計画策定経過】

《町民意識アンケート調査》

平成21年6月15日～7月10日 無作為抽出2,000名対象

回答 882名

回収率 44%

《まちづくり懇談会》

平成21年10月19日 那須地区 参加者32名

平成21年10月20日 芦野地区 参加者24名

平成21年10月26日 伊王野地区 参加者31名

平成21年10月27日 高原地区 参加者31名

《那須町振興計画策定懇談会》

平成21年9月18日

平成22年1月14日

平成22年5月20日

平成22年6月24日

《那須町振興計画策定委員会》

平成21年6月1日 平成22年5月10日

平成21年8月11日 平成22年6月18日

平成21年12月17日 平成22年7月1日

平成22年2月1日 平成22年8月2日

《那須町振興計画策定委員会幹事会》

平成21年6月10日 平成22年4月19日

平成21年8月6日 平成22年7月8日

平成21年12月11日 平成22年8月5日

平成22年1月14日

《那須町企画審議会》

平成22年3月19日

平成22年8月5日

第 6 次 那須町振興計画

〈ハートフル那須プラン〉

後期基本計画

発行日／平成23年3月

発 行／那須町

栃木県那須郡那須町大字寺子丙3-13